

2005年 8月15日

会社名 株式会社 大丸
 コード番号 8234
 代表者名 取締役会長兼最高経営責任者
 奥田 務

2005年 7月度 大丸 連結営業報告

1. セグメント別売上高対前年増減率(%)

| | 7 月 度 | 3 ~ 7 月 累 計 |
|------------|-------|-------------|
| 百貨店業 | 1.1 | 0.0 |
| スーパーマーケット業 | 3.3 | 0.1 |
| 卸 売 業 | 3.0 | 1.4 |
| その他事業 | 0.5 | 9.7 |
| 連結合計 | 0.2 | 0.6 |

(注) 売上高にはその他営業収入を含めていない。また、各事業の売上高には連結会社間の売上高を含む。

2. 百貨店業 売上高概況

1) 店舗別売上高対前年増減率(%)

| | 7 月 度 | | 3 ~ 7 月 累 計 | |
|---------|-------|------|-------------|------|
| | 売上高 | 入店客数 | 売上高 | 入店客数 |
| 心齋橋店 | 0.6 | 10.9 | 1.4 | 5.8 |
| 梅田店 | 0.1 | 0.6 | 0.8 | 1.6 |
| 東京店 | 1.1 | 7.2 | 1.5 | 4.2 |
| 京都店 | 2.5 | 0.3 | 2.6 | 6.4 |
| 山科店 | 0.6 | - | 0.4 | - |
| 神戸店 | 0.2 | 3.3 | 0.0 | 3.6 |
| 新長田店 | 3.7 | - | 6.6 | - |
| 須磨店 | 2.6 | - | 4.4 | - |
| 芦屋店 | 4.0 | - | 4.4 | - |
| 札幌店 | 11.8 | 10.2 | 6.6 | 6.3 |
| 直営10店舗計 | 1.0 | 0.8 | 0.2 | 0.7 |
| 博多大丸 | 2.8 | 16.0 | 0.1 | 12.5 |
| 下関大丸 | 2.1 | 0.8 | 1.6 | 1.4 |
| 高知大丸 | 1.8 | 2.3 | 1.3 | 4.9 |
| 今治大丸 | 3.5 | - | 2.7 | - |
| 百貨店業合計 | 1.1 | - | 0.0 | - |

(注) 直営店の入店客数合計の対前年増減率は、心齋橋、梅田、東京、京都、神戸、札幌の6店計である。

2) 直営店 商品別売上高対前年増減率(%)

| | 7 月 度 | 3 ~ 7 月 累 計 |
|----------|-------|-------------|
| 紳士服・洋品 | 4.8 | 2.4 |
| 婦人服・洋品 | 2.9 | 0.9 |
| 子供服・洋品 | 5.8 | 6.0 |
| その他の衣料品 | 0.1 | 0.1 |
| 衣料品計 | 2.7 | 0.8 |
| 身の回り品 | 1.5 | 0.0 |
| 家具 | 6.9 | 2.5 |
| 家電 | 27.5 | 26.1 |
| その他の家庭用品 | 3.9 | 1.7 |
| 家庭用品計 | 6.0 | 3.6 |
| 食 料 品 | 1.9 | 0.6 |
| 食堂・喫茶 | 1.1 | 2.0 |
| 雑 貨 | 3.3 | 1.9 |
| サ ー ビ ス | 4.1 | 3.5 |
| そ の 他 | 19.2 | 5.8 |
| 合 計 | 1.0 | 0.2 |

3 . 概況

1) 百貨店業

- ・ 7月の百貨店業の売上高は、婦人・紳士ともに夏物衣料を中心に活発に動き、直営店は対前年1.0%増、百貨店業全体では同1.1%増となった。
- ・ 直営店の店別売上高は、梅田店、京都店、神戸店、札幌店、山科店の5店舗が前年を上回った。札幌店は15ヶ月連続、京都店は8ヶ月連続、梅田店は3ヶ月連続。心齋橋店、東京店はともに紳士服を中心に衣料品は前年を上回ったものの、食料品、家電などのマイナスが響いた。
- ・ 商品別では、婦人服・洋品はクリアランスセールが堅調であったほか、売れ筋情報をもとに作り込んだ値ごろ感のあるバリュープライス商材も活発に動いた。紳士服・洋品はスーツは苦戦したが、引き続きクールビズ効果によりワイシャツやジャケット、パンツなどが好調に推移した。身の回り品はハンドバッグがよく動いた。雑貨は好調を継続する化粧品のほか、高級時計や宝飾品などに動きがあった。食料品はお中元ギフトの6月早期優待受注へのシフトが強まったことや、心齋橋店の食品フロア改装工事に伴う売場閉鎖も響いた。
- ・ 博多大丸は婦人服のクリアランスセールが盛況であったことや、食品フロア改装効果の持続もあり対前年2.8%増、一方、下関大丸はクリアランスセールを中心に衣料品が好調であったが、お中元ギフトの6月早期優待への前倒しが影響し同2.1%減となった。

2) その他

- ・ スーパーマーケット業の大丸ピーコックの売上高は、対前年3.3%減であった。地区別では関東地区は店舗入居ビルの建替え工事に伴う1店閉鎖(三田伊皿子店)の影響もあり対前年1.6%減、関西地区は主力店のある千里地区の競合激化などにより同5.2%減となった。
- ・ 卸売業の大丸興業の売上高は、資材関連や食料品が不調で対前年3.0%減となった。

| | | | | |
|---------|------|-----|--------------|--------|
| お問い合わせ先 | 株式会社 | 大丸 | グループ本社 | 広報・IR部 |
| | | TEL | 06-6281-9002 | |
| | | FAX | 06-6245-1343 | |